

1月の暮らし

近ごろは、かいまきを使わず毛布を利用する家庭がふえたが、寒さがきびしくなると肩のへんがすかすかして寒いものです。バスタオルや古くなったショール、カーディガンを利用して肩あてを作っておくと暖かく休めます



発行所 川西町役場 編集人 星名四郎
発行者 川西町 印刷所 白南風社
(町長 中村壮吉) 定価 1部5円

人口の動き

1月1日現在

男	6,846人
女	7,012人
計	13,858人
世帯数	2,735世帯

年頭に当りて

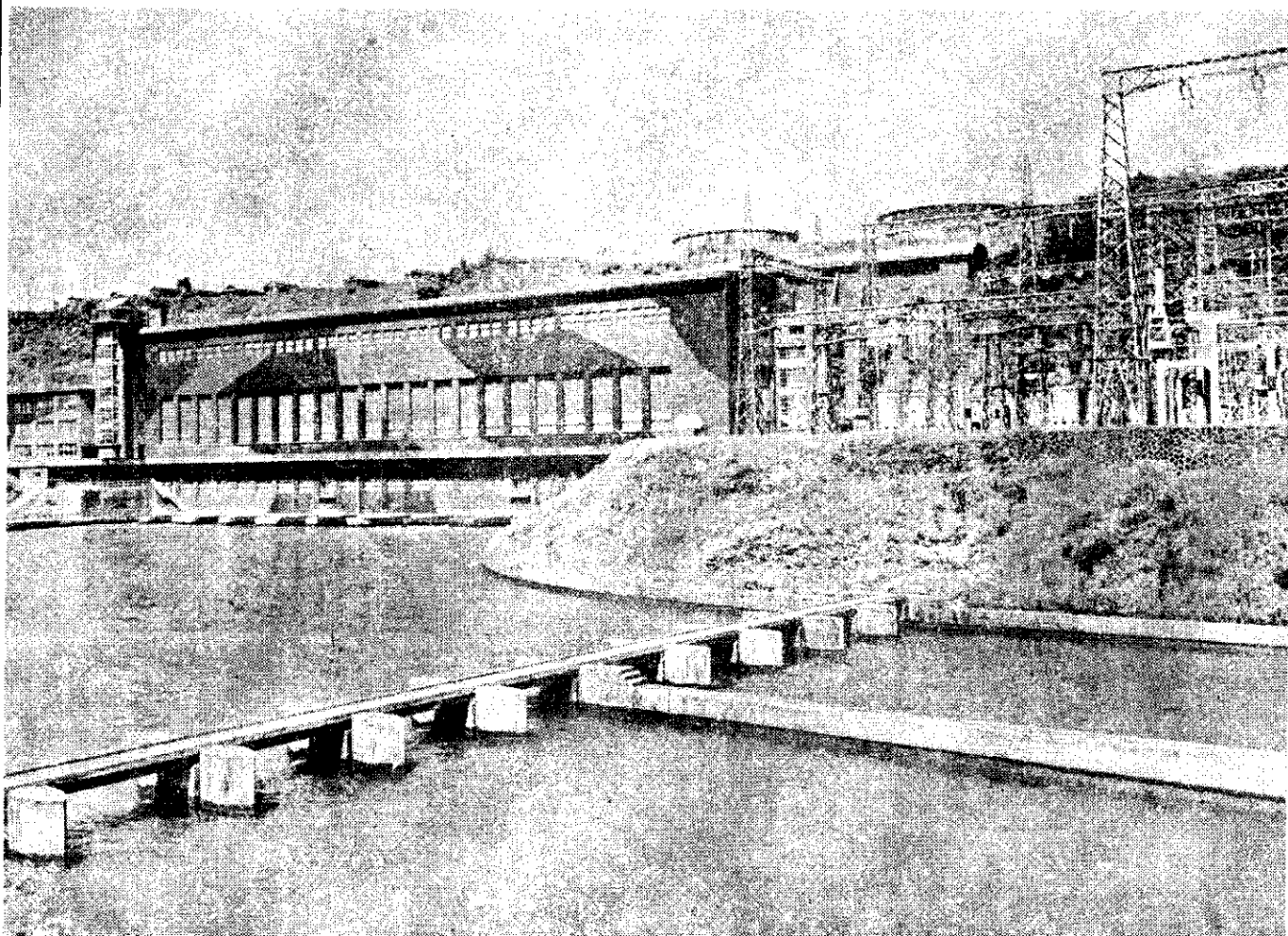
川西町長 中村 壮吉



明けましておめでとございませう。昨年の風水害による惨禍も、みなさまの尊い協力により、ここに復旧し、そろって暖かい新年を迎えることができました。この年頭にあたり、町行政の一端を申しあげて、各位のご理解を頂きたいと存じます。

新年の計画を申しあげるには、まず予算編成が考えられます。本年度の予算の大綱は、一月中に組むわけですが、ここで一番問題となるのは、わたくしが、ことあるごとに、昭和三十七年度こそ川西町の財政上の危機の年であると指摘

していた、平衡交付金の大巾な減額がひかえておる点です。これは町村合併の際の特例による恩恵が三十七年度から切れるためで、その対処策は、交付金の減額も一千万円程度に圧縮したいと、基礎算定について自治省方面に接しよう中ですが、ともかく、これに変わる財源を求めるか、または支出を削減するか、何れか一方の方途を選ばねばならず、あるいは税増額も余儀ないような現実と申せましょう。「入るを計って出るを制す」のたとえ通り、まず収入を確立してそれから支出の切り盛りをやるのが常道です。国や県の補助金もたくさん町へ導入して各種の事業をやらなければなりません。いつもわたくしは、教育文化施設の充実と産業発展を大綱に、町の財布をあずかっておりますが、本年特殊性のある事業としては、川西中建築の継続事業、技本施策による南沢北沢の災害復旧工事が、あり後者は河状整理を施行して約五千万円の復旧費がかかる大工事です、その九十六パーセントは国、県で負担して行ないます。そのほか町を語るには枚挙にいとまありませんが、あくまでもこの郷土を住みよい、美しい平和郷に作りあげるためにまい進いたします。どうかみなさまも覚悟を新たにしたいところで、特段のご協力をお願いいたします。



町議会報告

年末定例会終わる

退職手当組合は審議未了

昭和三十六年度の最終議案として、第十五回定例町議会は、十二月二十五日および二十六日の二日間を会期として招集された。

この定例会の主要議題は、先に十月二十九日の臨時会で議決された報酬、給与関係条例の改正に基づく追加更正予算であるが、ほかにも、各種委員の報酬を引き上げる条例が一件、橋の南沢北沢災害復興関係の予算外義務負担一件と、町職員退職手当組合設立の議案が提案された。

これらの議案のうち、町職員退職手当組合の設立については、県町村議事会と県町村会との間に意見の食い違いがあるため、その調整を待つこととなり今回は継続審議とされたほかは全部原案どおり可決された。

給与関係が主体

一般会計の追加

一八六万

今回の追加更正予算は、いずれも前議会において決定を見た報酬給与等の予算化が主体で、そのほか、知事選挙費、伝染病予防費、消防施設費等が加わっている。

追加所要額は三百八十八万四千五百七十五円となったが、当初四百万と予定された前年度繰越金のうち百五十一万八千円が減となったので、差し引き不足分百二十一万八千円を予備費から充用して、実費

千円、期末手当六万九千円、交際費三万二千円がその内訳である。

以上の四款で追加額の九割に当たる二百七十二万二千円となるが、そのほかには次のようなものがある。

選挙費十九万一千円は、選挙管理委員の報酬追加と十二月七日に行なわれた県知事選挙の経費である。保健衛生費十八万八千円は、小児マヒ予防の生ワクチン代、日本脳炎関係防疫費等の伝染病予防費

二十一万四千円に対して、環境衛生費においてし尿槽設置助成二十万を更正減額し、旅費、諸手当の増と差し引きして十萬六千円の減となったので、これと差し引きして十萬八千円となったもの。

そのほか、産業経済費一萬八千円、財産費二萬四千円、統計費二萬二千円、諸支出金七萬四千円、と零細な追加があり、社会労働施設費においては退職者の関係で七萬四千円の更正減となっている。以上を合計すると最初述べた三百八十八万四千五百七十五円となるが、財源不足分の百二十一万八千九百四十円を予備費から補って、差し引き百八十六万五千六百三十三円の追加となった。

これに対して才入は次のとおりである。

まず、町税の自然増として百九十八万円の追加であるが、内訳は市町村民税百六十二万四千円、うち法人割百三十三万六千円、固定資産税三十五万六千円、うち国鉄分二十五万である。

次は、地方交付税の追加分百四十四万、これはベースアップに伴う再算定分である。

その他、根沼池負担金十萬九千円、使用料手数料一萬四千円、国庫支出金六萬八千円、県支出金二十一萬二千円、合計三百三十八萬三千九百七十四円となるが、これから繰越金の減百五十一萬八千三百三十九円を差し引いて百八十六萬五千六百三十五円となり、前記才出と同額となる。

国保会計は五万追加

国保特別会計の追加予算は、保健婦給与の増五万円を追加したのみで、才入については同額を国庫負担金の増によってまかなったもの。

千診は才出のみ更正

千手診療所特別会計予算については、予算の総額は動かさず、才出の内容について一部更正したものである。その内訳は、職員給与改定による諸手当の増三十七万七千円に対して、給食費二十五万、旅費七万、薬品費五万をそれぞれ減額して差し引き増減なしの更正予算である。

なお、橋診療所についても給与改定による更正があるけれども、退職した薬剤師の補充がつかないままその予算が余っているため、今回は追加更正をしなかった。

二二二万円の分担金を補償

総額五千万円の

県営工事

橋地区南沢北沢の県営災害復興工事については、総額五千万円にのぼる空前絶後の大工事であるが

最近、困難な諸条件につき当たって一時はその成否が懸念されたほどであった。これに対して中村町長はじめ、関係者の非常な努力によって、ようやく着工のメドがつき、地元被災農家をほっとさせた。

今回提案された予算外義務負担の件は、昭和三十六年度分事業費二千二百六十五万五千円に対する受益者負担金を二百二十一万円以内で町が補償するというもので、これは最終負担団体となるべき橋地区土地改良区の設立が認可されて地元受益者の納入手続きが整うまでの保証であって、これに対しては地元代表十七名から、町に対して迷惑をかけない旨の覚書が入れられており満場一致可決された。

委員報酬は

五割増

前議会で議会議員、三役等の報酬を改定したが、その他の各種委員については今回の条例改正で従来の五割増となった。改定額は次のとおりである。

(カ) 町内は改正前の額……年額)

教育委員会委員長七五〇〇円(五〇〇〇) 同委員五二〇〇円(三三〇〇) 選挙管理委員会委員長(二二〇〇) 同委員(一五〇〇) 農業委員会

会長七五〇〇円(五〇〇〇) 同委員五二〇〇円(三三〇〇) 固定資産評価員五〇〇〇円(一〇〇〇) 固定資産評価審査委員会委員一五〇〇〇円(一〇〇〇)

旧国鉄軌道

払い下げの件

旧国鉄軽便軌道敷地の払い下げについては上野地区を除いてたい処理済みもしくはその見通しがいつているが、上野地区については、地元議員が中にはいつて関係者のアッセンを行なっている。その状況を報告した結果、なるべく早く解決するよう希望して町長の方針を了承した。

松葉沢水系開田地

道路助成の件

松葉沢水系四十五町歩の開田に伴う道路の新設、改修に対して町費助成をどのように扱うかという問題である。

これについては産建委員長から関係五地区のうち、霜条、伊友、上野、土橋は農道、元町線は施工条件は他と同じであるが、町道山手線の方線変向と認められるので町道として取り扱うべきである。用地買収費は開田関係に含まれるので事業費から除外すべきである。ただし、霜条線は鉄道用地を転用しているため、助成はこの用地代と差し引きとする。

また上野線は開田区域外であるから普通農道として取り扱うべきである。等、委員会審査の結果を報告、これらの線に沿って発案するよう要望した。

農業共済組合を町に受け入れの可否については関係法令の改正により、これを町で行なう道が開けたので、川西でも町で引き取るかどうか所管の産建委員会において研究することとなった。

お知らせ

個人事業税の一部改正について

- (1) 個人事業税の申告書の提出期限が、三月二十日に変わりました。従来五月三十一日とされていたものが、昭和三十一年度から三月二十日が提出期限となり、申告書の様式も改正されました。
- (2) 三十七年度から個人事業税の納税義務者はすべて財務事務所へ申告していただくことになりました。
- (3) 「基礎控除」が「事業主控除」に改められました。
- (4) 「事業主控除」ができたことに伴い、従来の「基礎控除」が「事業主控除」に変わりましたが、控除額は今までどおり二十万円です。
- (5) 申告書を提出期限までに提出されない「事業主控除」及び「基礎控除」の特典が認められませんが、

の特典もありますが、これらはすべて提出期限(三月二十日)までに申告があった場合に限り認められます。

※ ※ ※
これらのことについて一月下旬から各地域毎に説明会を開く予定です。お出掛けください。なお不明の点は気軽に財務事務所にお問い合わせください。(十日町財務事務所)

新春のあいさつ

会議議長 久井 精一



ついでに新年のおよろこびを申し上げます。
川西町も充足以来ここに六年の歳月を過ごし、当初の基礎作りの時代その後の建設段階を通じ堅実に力強く発展してまいりましたが、更に一層の躍進を期待し得る昭和三十一年の新春を迎えることのできたことは町民の皆様とともに誠に同慶にたえないところであります。

教育文化の振興と産業の育成を町政の二大方針として常に皆様のご理解とご協力により強力に推進してまいりました。ことしもこの方針に従って数多くの事業が計画されている次第であります。対外的の上越西線及び豪雪地振興特

別立法、栄橋の架橋等一連の促進運動はもろろに強力に推進しなければなりません。また、川西中学校の建設はじめ教育施設の充実、南北沢川の大規模災害復旧事業、道路橋梁の整備改良事業、各地の開田計画の実施等躍進川西町にふさわしい大事業が予定されております。しかし他の一面においては合併特例による交付税が昨年度期限満了となり、国鉄大規模固定資産税の償却による減収等財政面において種々の困難が横たわっておりますので慎重に研究と検討を加えて健全財政を確保しなければなりません。従って本年は希望に輝く年であり、又相当の決意を要する年でもありますので、常に中村町長を始め、町当局と緊密な連絡を保つとともに、町民の皆様のご意向を十分議会に反映し、審議を通じて明るく、平和な、しかも豊かな町作りを目指してまいりたいとお願いいたします。

より一層のご協力をお願い申し上げます。
新春のあいさつといいたしまし

年賀状に想う
ことしも元日に数多くの年賀状をいただき、その中に色々内容の変わったものがあり興味深く読むことができた。出してくださった方には失礼だが、原文のまま三三上げて見よう。「オッス!!」などおもしろく、おかしく過した年間——本年も力の限りやろうぜ」「酒をのんだり、悪口を言いあつたり、笑わせたりそれではないのだから、今年も矢張りこうして生きたいもの」「何時かはみのあるであろうということを感じながら速効性のない仕事を無上の楽しみとして考えていく、それが教育という仕事、もつとこのことを素直にみんなが認めてくれれば勇気もわくし活発にもなる、特に社会教育に然り——新春の放言に「まだまだ変わったのが多い分あった。紙面の都合で省略するがいずれも日ごろ尊敬している先輩からのもので、読んでいて目がしらが熱くなるのを何度か味わった、なんとすばらしい文面だろう、こんな仲間がいることに最上の喜びを感じ、一人でも多くの仲間がふえることを願っている。愛ほろする社会あるいは愛ほろする農村と昨年は世界の合言葉のようにいわれたが、ことしはじっくり腰をおろした考えてみなければならぬ年だろうそんなことを思うと、真剣に考え語り合える仲間が何よりも必要になってくるのだとしみじみ感じられてならない。だれしもがより幸

なが認めてくれれば勇気もわくし活発にもなる、特に社会教育に然り——新春の放言に「まだまだ変わったのが多い分あった。紙面の都合で省略するがいずれも日ごろ尊敬している先輩からのもので、読んでいて目がしらが熱くなるのを何度か味わった、なんとすばらしい文面だろう、こんな仲間がいることに最上の喜びを感じ、一人でも多くの仲間がふえることを願っている。愛ほろする社会あるいは愛ほろする農村と昨年は世界の合言葉のようにいわれたが、ことしはじっくり腰をおろした考えてみなければならぬ年だろうそんなことを思うと、真剣に考え語り合える仲間が何よりも必要になってくるのだとしみじみ感じられてならない。だれしもがより幸

ブラジルだより

……去年の暮れも十二月四日、横浜を出港してブラジル移民の壮途についた、田代出身の中島之男さん一家については、すでに本紙前号で紹介いたしました。後、船旅の途上にある中島さんから、中村町長にあてて、次のようなたよりがあった。

※ ※ ※
あるせんちな丸より

前略、ご無沙汰いたしました。皆みなさまにはお愛りなき事と存じます。出発の際はいろいろとお世話になりました。お礼申し上げます。異国の地より遙かに故郷郷土の発展をお祈り申し上げます。お貴下におかれては益々ご健勝にて郷土発展のため日夜ご精進ください。着々町政の増進に実績を挙げられることと思います。わたくしどもお陰様にて家族一同もみな元気に航海いたしました。これから安心して暮らさせていただきます。わたくしども先駆移住者の体験に学び困難おものり切って努力する覚悟です。町長さまも身体に気をつけて町政増進に前進せられますよう、わたくしもサンパウロ州のイビウナの岩部俊夫様の耕地になり養鶏、豚、米を養育することにいたしました。寒さにむかいますので町長様も体気をつけてくださいませ。皆様も良き新年を迎えられんことを異国より祈って止みません。中島之男 (原文のまま)

町の掲示板

▽嘱託員さまは……①

一月八日現在で、次の新しい嘱託員がきまつた。

- ◎山田野清水仁作 ◎永公西組福原長治 ◎永公東組中島茂 ◎下平田中軍平 ◎四郎兼渡辺善茂 ◎東善寺山正平 ◎上町真明正人 ◎中央町清水寛治 ◎田中町半藤勇吉 ◎神社町丸山寅三 ◎中屋敷小林金一郎 ◎寺尾清水元三 ◎木島町中村義雄 ◎沖立柄沢二 ◎伊友羽鳥彦市 ◎坪山高橋辰雄 ◎霜条星名昭次 ◎鶴吉田村武作 ◎寺ヶ崎清水作平 ◎塩辛藤巻男

初 議 会

十三日午前十時からひらき①税法の一部改正 ②追加更正予算を審議する。

庁内人事

十二月いっばいで次の三名が退職した。
衛生係白井敏夫 在職一年九九月土木係高橋アキ 在職一年九九月国土調査係佐藤徳男 在職九九月

年金問答 ⑤

問 若年停止のためまだ支給は受けておりませんが、わたしは軍人恩給の受給権をすでに確得しております。しかしこれから先恩給はもらえないとしてもその額は非常に少ないため、できることなら国民年金にも加入して今働けるうちに積みためて老後の収入を少しでも増したいと思っておりますが……

戸籍の窓から

うぶ声—御すこやかに

昇天—御めい福を祈る
平野 ミサ 上町 六〇
内山 ヨネ 新町新田 七一
山口 孝子 木落 〇
小崎 クラ 仁田 七一
小坂 ミト 赤谷 六九
山口 慶八 中仙田 五九
山口 慶八 中仙田 六八

たかご—御円満に

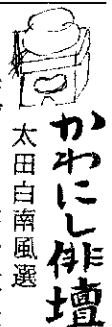
◎新郎 関口 良平 神社町
◎新婦 岩田 トク 中条から
◎新郎 中村 第二坪山
◎新婦 星名 ヒサ 上野から

答 あなたが考えられるとおり働けるうちに働け、それにより老後を保障しようとするのが年金制度であります。今までは現在国民年金法以外の公的年金制度に加入している人や、その年金又は恩給を受けている人、及びその場合は、たとえ本人が希望しても国民年金の被保険者となることはできません。しかしこの前の臨時国会においてそれが改

- ◎新郎 田村 健三 鶴吉
◎新婦 阿部 マサ 中条から
◎新郎 村山 欣一 伊友
◎新婦 野沢 ヒデ 野口から
◎新郎 田中 義雄 下平
◎新婦 水落 好子 中条から
◎新郎 中村 一郎 坪山
◎新婦 樋口 笑子 上野から
◎新郎 数藤 義一 沖立
◎新婦 蕪木 久子 十日町から
◎新郎 星名 義一 高原田
◎新婦 渡辺 カツ 山谷から
◎新郎 中村 一夫 坪山
◎新婦 馬場 康 小泉から
◎新郎 高橋孝一郎 伊友
◎新婦 尾身 キイ 真田から
◎新郎 相崎 誠 沖立
◎新婦 入田ヒロイ 稲葉から
◎新郎 尾名 勇 元町
◎新婦 柳 ハル 山谷から
◎新郎 押木 米作 元町
◎新婦 清水 孝子 寺尾から
◎新郎 星名 益雄 下平新田
◎新婦 滋野 一子 野口から
◎新郎 田中 一良 仁田
◎新婦 渡辺 芳子 仁田から
◎新郎 和田 莊太 仁田
◎新婦 和田 静江 仁田から

- ◎新郎 田中 英雄 仁田
◎新婦 須藤 圭子 仁田から
◎新郎 佐藤 康雄 野口
◎新婦 若山 キヨ新町新田から
◎新郎 引間ハル子 坪山から
◎新婦 丸山 富平 新町新田
◎新郎 山口 昭 仁田から
◎新婦 井口キイノ 仁田
◎新郎 樋口栄治郎 中条から
◎新婦 増田 嘉一 室島
◎新郎 高橋 恵美 室島から
◎新婦 小林 卓司 中仙田
◎新郎 高橋 芳枝 室島から
◎新婦 高橋 庄三 高倉
◎新郎 渡辺 リツ 北浦原から
◎新婦 高橋 隆一 大白倉
◎新郎 保坂ヨシノ 大白倉から
◎新婦 登坂庄一郎 岩瀬
◎新郎 小林 フヂ 松代町から
◎新婦 半田 昌利 室島
◎新郎 佐藤 俊 十日町から
◎新婦 小川 昭一 越ヶ沢
◎新郎 佐藤 サクイ 岩瀬から
◎新婦 登坂 緑蔵 岩瀬
◎新郎 高橋カオル 十日町から
◎新婦 高橋 幸雄 高倉
◎新郎 谷口 チイ 小千谷から

正され、現在国民年金法以外の公的年金制度(厚生年金・恩給法・共済組合など)に加入している人だけが国民年金に加入することができず、それ以外の人(現在恩給や年金を受けている人、すでに受けることになっている人)は本人の希望によつて加入できるとになりました。したがってあなたも加入する希望があれば、あなたも国民年金(通算者令年金)としてあなたの軍人恩給に計算され、六十才より支給されることになっております。



かわにし俳壇
宇治にて 金子紅秋
○灯ともりしネオンに時雨細きこ
と

音かるく茶粉機廻る事始め
小白倉 江口凡石
○初風呂にあり硝子戸の曇りをり
水仙や床置き石の凡ならす
学校町 高崎 正風
初御空雲山の装束めつつ
荒壁に少し傾き初磨

雪晴れて山むらさきに初日の出
茶羽織を着替え見もして初鏡
和歌山にて 金子洋石
山の駅ホーム人無く粉雪降る
千手 一 女性

庭先の白菊に月上がりけり
★ ★ ★
●謹賀新年
本号から表題のとおりか
たを組みかえ、題字はふ
たたび中村町長の手をわ
づらわしました。横にと
ったのがどんなぐあいに
なるか。

●保坂、金子町主事から、それぞ
れの分野を生かした記事を継続し
て寄稿していただくことになりま
した。ご期待ください。
●町民音楽大会、こしは二十一
日にきまつたようです。お正月気
分の総決算というところでしょう
か。

●同じ日、夜は千手小でフォーク
ダンス大会とか、青年たちが手を
とりあつてこしもがばらうと
いう意図でひらかれます。より庄
みよい町にしたいものです。